

# 令和6年産 コメ通信

第6号（令和6年7月5日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課  
（電話：0186-62-1835）

## 生育早い！適正な管理を！

### 1 気象経過及び生育状況

#### 【気象経過】

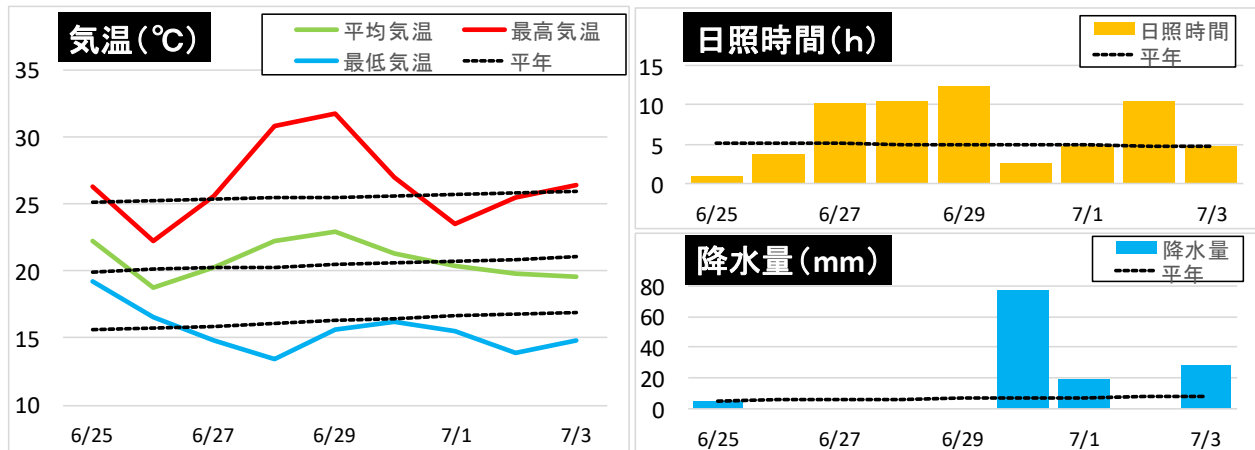


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

- 6月6半旬から7月1半旬にかけては、平均気温はほぼ平年並だったものの、最低気温がやや低くなりました。また、日照時間は平年よりやや多く、降水量は多く推移しました。
- 7月4日に仙台管区気象台が発表した東北地方の向こう1か月の予報によると、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少なくなる見込みです。

#### 【生育状況】

- 7月5日現在の生育（あきたこまち：9地点平均）は、平年と比べ草丈が長く、茎数と葉数が多く、葉色が濃くなっています。
- 気温日較差が大きかったため、前回調査から引き続き茎数が多い状況となっています。
- 田植えが早かったほ場では、幼穂が確認されました。

表1 定点調査結果（7月5日）

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (葉)	葉色
本年	55.8	605	10.8	45.0
平年	52.8	558	10.3	43.3
前年	55.1	486	10.5	43.5
平年比	106%	108%	+0.5	104%
前年比	101%	124%	+0.3	103%

※平年は過去10か年の平均値を示す。

※葉色はSPAD-502で測定した。

#### 【幼穂形成期の予測】

- 日平均気温から算出したあきたこまち（中苗）の幼穂形成期（幼穂長2mm期）は、平年より3日程度早まると予測されます（表2）。
- 田植え時期により差があることから、各ほ場を確認し、次ページを参考に水管理や追肥の判断を行ってください。

表2 あきたこまち（中苗）の幼穂形成期予測（アメダス鷹巣）

田植日	幼穂形成期（平年値）
5月15日	7月10日（7月13日）
5月20日	7月13日（7月16日）
5月25日	7月15日（7月18日）
5月30日	7月18日（7月21日）

※7月4日以降は平年値で計算した。

## 2 中干し後の水管理

- 中干し後は、根の活力を維持するため、急激な湛水管理は避けて間断かん水を行います。幼穂形成期に土壤水分が不足すると1穂着粒数が減少しますので、中干しは幼穂形成期までに終わります。今後の状況に合わせて適切な水管理を行ってください。
- 中干しを十分にできなかったほ場では、落水期間をやや長めとする間断かん水により地耐力を高めます。
- カドミウム含有米の発生防止対策地域では、田面が空気に触れないように出穂期の前後各3週間の常時湛水管理を徹底します。

## 3 主要病害虫の防除対策 ～ドリフトに注意！～

※飼料用米も主食用米と同様に、病害虫防除を行ってください。

※生育が早まっているため、防除のタイミングを逃さないよう注意しましょう！

### 【いもち病】

- BLASTAM（アメダス）の判定では、県内各地で6月24～27日にかけて感染好適日が観測されました。感染から発病まで通常5日～1週間かかるため、ほ場の見回りにより早期発見に努めましょう。病斑を発見したら直ちに予防剤と治療剤の混合剤（ブラシン、ノンブラス等）を茎葉散布してください。

### 【斑点米カメムシ類】

- 本年は、斑点米カメムシ類の発生量は多いと予想されています（病害虫防除所：6月25日発表）。水田内のホタルイ類等のカヤツリグサ科雑草やノビエの除草を徹底しましょう。
- 畦畔でイネ科雑草が出穂していると、斑点米カメムシ類の発生量が多くなる傾向にあります。出穂の10～15日前まで畦畔や農道等の草刈りを徹底し、斑点米カメムシ類の発生源をなくしましょう。地域で一斉に草刈りを行うと効果的です。

## 4 幼穂形成期の追肥判断

### 【栄養診断による追肥の判断】

- 幼穂形成期に栄養診断（図2）を行い、表3を参考に追肥を検討してください。
- 幼穂形成期の極端な葉色低下は、1穂着粒数の減少や有効茎歩合の低下を招きます。
- 幼穂形成期に葉色が濃く草丈が62 cm以上ある場合は、倒伏の可能性が高くなるため、穂肥の施用を控えます。

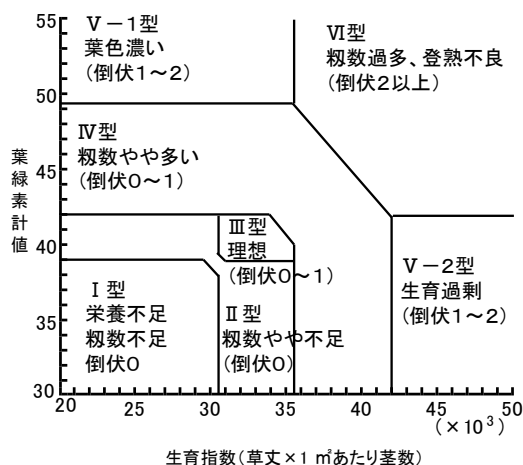


図2 幼穂形成期における栄養診断（県北）

表3 生育型における窒素追肥量

生育型	窒素追肥量(kg/10 a)	
	幼穂形成期	減数分裂期
I型	2 kg	2 kg
II型	2 kg	2 kg
III型	ムラ直し1 kg	2 kg
IV型	なし	2 kg
V-1型	なし	ムラ直し1 kg
V-2型	なし	ムラ直し1 kg
VI型	なし	なし

※目標収量570 kg/10 a(あきたこまち)

問い合わせはJAまたは農業振興普及課まで ～次回発行は7月中旬頃～